

トピックス

逆面エコ・アグリ[®]の里が農林水産大臣賞を受賞しました

宇都宮市の逆面エコ・アグリ[®]の里は、「平成22年度豊かなむらづくり全国表彰事業」(農林水産省など共催)で農林水産大臣賞を受賞しました。この表彰事業は、伝統文化や自然環境を守る活動をきっかけに、地域ぐるみによる6次産業化や都市農村交流など、地域の活性化に繋げていく取組を表彰するもので、関東農政局管内では逆面地区をはじめ3団体が受賞しました。

逆面地区は、NPOや大学、都市住民と連携しながら、水田生態系の頂点に位置すると言われるフクロウを中心とした地域全体の環境保全活動に取り組むとともに、生きものの健全な生息環境の中で、減農薬・減化学肥料で栽培された米を「育む里のフクロウ米」と名付けてブランド化を図っている点が高く評価されました。

今年からは、無農薬・無化学肥料米「スーパーフクロウ米」の栽培にも取り組んでおり、さらなる農業振興や地域活性化が期待されます。



集落に配した地域のシンボル「フクロウ」の像



関東農政局で行われた表彰式の様子

和田用水がマロニエ建築・景観奨励賞に選ばれました

鹿沼市の「和田用水ホテルの里親水公園」周辺の景観が、「第22回 県マロニエ建築・景観賞」(栃木県など共催)で奨励賞を受賞しました。この表彰事業は、美しい景観づくりの促進に資するため、都市景観の形成等に寄与する建築物や良好な景観を表彰するもので、景観部門では和田用水をはじめ2地区が受賞しました。

和田用水と周辺農業施設を管理する和田用水ホテルの里の会(中粕尾水と緑の会)は、市外・県外の都市住民の参画を呼びかけながら、水路の清掃をはじめ、ホテル鑑賞会や菜の花交流会など、工夫を凝らした取組を展開しており、こうして維持・創造された山里の景観はどこか懐かしく心が和む、などとして選定されました。

また、当地区では都市住民のリピーター確保(活動参加者の定着)に力を入れており、今後とも、都市住民との協働により、良好な景観が守られていくことが期待されます。



和田用水ホテルの里親水公園の全景



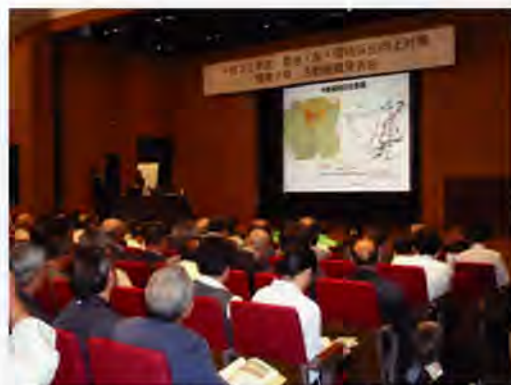
県庁講堂で行われた表彰式の様子

関東9県活動組織発表会が開催されました

10月19日(火)、さいたま新都心合同庁舎1号館講堂で、関東農政局主催の「関東9県活動組織発表会」が開催され、活動組織、行政関係者、一般参加者など約500名の方が参加しました。

栃木県では、中粕尾水と緑の会(鹿沼市)の若林氏が、都市住民との協働による水路の清掃活動や生きもの観察会、菜の花交流会の取組について紹介し、来場者の注目を浴びていました。

また、県協議会は講堂入口付近のブースにて、パネル展示を行い、生きもの調査結果やエコアップ活動の取組を紹介し、とちぎの豊かな自然環境を広くPRしました。



中粕尾水と緑の会 若林氏の発表の様子

県庁本館でパネル展示を開催しました

10月25日(月)~29日(金)の5日間、栃木県と県協議会の共催により、県庁本館15階の展示ギャラリーにて、共同活動に係るパネル展示を開催しました。

会場では、対策の中間年評価結果及び共同活動の特徴的な取組事例をパネルで紹介するとともに、各活動組織が作成した広報誌や生きもの図鑑を展示し、多くの県民の対策に対する理解と保全活動への積極的な参画を促進しました。



展示風景



「田んぼまわりの生きもの調査インストラクター養成講座」を実施しました

地域主体による充実した生きもの調査等の取組を促進するため、今年度初めて実施した「田んぼまわりの生きもの調査インストラクター養成講座」(計3回の連続講座)に77名の活動組織構成員が参加しました。

第1回及び第2回講座では、水生生物・陸生生物の調査のポイントや同定方法について現地研修により学び、第3回講座では、生態系保全活動の実践技術や効果のモニタリング手法等について習得しました。

本講座を修了した活動組織構成員からは、「生きものへの知識をさらに深めたい」「エコアップ活動を積極的に実践したい」といった声が聞かれるなど、地域で大いに活躍することが期待されます。



第1回の座学の様子



第2回の実習の様子

※ 第1回及び第2回講座で会場を提供いただいた宇都宮市西下ケ橋地区の自治会、アグリネット西下ケ橋、宇都宮市役所の皆様、ご協力ありがとうございました。

○ 第1回講座 (8月20日)

内容：生きもの調査と同定方法(水生生物)

講師：NPO法人グラウンドワーク西鬼怒 藤咲氏(魚類、両生類)

社団法人 農村環境整備センター 守山氏(魚類、両生類)

○ 第2回講座 (10月7日)

内容：生きもの調査と同定方法(陸生生物)

講師：姿川環境保全会 佐藤氏(昆虫類)、栃木県植物同好会 杉田氏(植物)、

水土里ネットとちぎ 福田氏(チョウ類)

○ 第3回講座 (12月9日)

内容：生態系保全活動の手法と技術

講師：NPO法人オリザネット 斉藤氏、水土里ネットとちぎ 高橋氏

事例紹介：久那瀬農地水環境保全会、ピオトープの里ふくおか、下芳井ほたるの会

農地・水・環境保全向上対策に係るイベント情報

「とちぎのふるさと田園風景百選」記念シンポジウムの開催

本県の豊かな田園風景を百年後の後世に継承するとともに、元気な地域づくりの契機とするため実施している「とちぎのふるさと田園風景百選」の認定を記念して、栃木県の主催によりシンポジウムが開催されます。農地・水・環境保全向上対策の趣旨と通ずる部分がありますので、積極的な参加をお願いします。

日時：平成23年2月2日(水) 13:30～16:30

場所：栃木県総合文化センターメインホール

第1部：基調講演「景観から見た日本のこころ」

講師：涌井雅之氏

(桐蔭横浜大学特任教授、中部大学教授、造園家)

第2部：百選認定証授与

第3部：パネルディスカッション「百年後にも誇れる田園風景をめざして」



TBS「サンデーモーニング」
コメンテーター

田園風景百選シンポジウム
と同時開催

「田んぼまわりの生きものマップ」作品展の開催

平成22年度「田んぼまわりの生きものマップコンテスト」に応募された作品と、農地・水・環境保全向上対策の取組を紹介するパネル展示を開催しますので、是非ご覧ください。

日時：平成23年

2月2日(水) 11:00～19:00

2月3日(木) 9:00～16:00

場所：栃木県総合文化センター

1階第2ギャラリー



平成21年度最優秀賞作品
ふるさと古江21

グレードアップ推進講座の開催

農地・水・環境保全向上対策の最終年度を迎えるに当たり、体制整備構想の成案策定に向けた講座を開催します。

また、本講座に併せて、生きものマップコンテストの表彰式を開催予定です。(審査結果の公表：平成23年1月予定)

日時：平成23年3月9日(水) 午後予定

場所：小山市立文化センター大ホール

啓発パネル展示の開催

本県における取組状況を多くの人に知っていただくための広報活動の一環として、12月20日～27日の間、宇都宮市ろまんちっく村においてパネル展示を行います。近くにお立ち寄りの際は、是非ご覧ください。また、各活動組織においても、様々な機会や場所を活用し、積極的なPRに努めましょう。

県協議会からのお願い

協定面積の変更手続等について

公共事業に伴い農地を売った場合や住宅建設等により農地転用などを行った場合は、協定変更等の手続が必要になります(一部支援交付金の返還が生じます)。地元市町の担当課へ早めにご相談ください。

